

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24-2-041
補助事業名 平成24年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を作る活動 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

【巡回療育相談】

医師・看護師・専門指導員及び当会のケースワーカー等心身障害児（者）療育の専門家で編成した療育相談班を実施地に派遣し、相談の機会の少ない地域で在宅生活を送っている重度の心身障害児（者）とその保護者に対する療育相談に応じ、障害に関する正しい知識や障害福祉制度の利用方法など正確な情報を伝えることで保護者が抱える不安の解消や心身の成長・精神衛生の向上を図る。これにより在宅の心身障害児（者）の福祉の増進に寄与する。

【集団指導】

重度の心身障害児（者）のいる家庭では毎日の介護に忙殺され、家族だけでの外泊はおろか外出も困難なため家庭の中に引きこもりがちな親子が数多く見受けられる。そのような親子に対して、1泊2日の集団指導療育キャンプを実施し、心身障害児（者）には様々な体験やスタッフ・ボランティアとの交流を通して社会性を広げるための体験の機会を、保護者にはリフレッシュや他の参加者との交流及び情報・意見交換、更に専門家による講習会等を実施し、障害者福祉制度に関する様々な情報を得る機会を与え、子どもの成長や将来の心身障害児（者）問題を考える一助とする。

(2) 実施内容

【巡回療育相談】

医師・看護師・専門指導員（保育士・児童指導員・理学療法士・作業療法士等）等のスタッフで巡回療育相談班を編成し実施地に派遣し、心身障害児（者）・保護者に対する診療及び療育相談を行った。

実施地は、福島県・島根県・愛媛県・広島県・熊本県の5地区で次の通り実施した。

① 福島県

平成24年11月10日 国立病院機構福島病院（会場1名）
国立病院機構いわき病院（会場3名）

平成24年11月11日 いわき市（訪問1名）
（相談班の編成）医師1名 看護師1名 専門指導員5名

② 島根県

平成24年11月14日 国立病院機構松江医療センター（会場4名）

平成24年11月15日 出雲市（訪問）2名
（相談班の編成）医師1名 看護師3名 専門指導員17名

③ 愛媛県

平成24年12月22日 西条市（訪問4名）

平成24年12月23日 西条市（訪問2名）
今治市（訪問2名）
（相談班の編成）医師2名 看護師1名 専門指導員6名

④ 広島県

平成25年 1月21日 広島市（訪問2名）
広島大学病院（訪問1名）

平成25年 1月22日 広島市（訪問3名）
（相談班の編成）医師1名 看護師2名 専門指導員5名

⑤ 熊本県

平成25年 3月 2日 国立病院機構熊本再春荘病院（会場5名）

平成25年 3月 3日 熊本市（訪問4名）

【集団指導】

1泊2日（神奈川県支部は2泊3日）の障害児（者）親子の集団指導療育キャンプを行った。
実施地は、栃木県・宮城県・神奈川県・岡山県・青森県・北海道・大阪府の7地区で次の通り実施した。

① 栃木県

実施日時 平成24年7月21日（土）～22日（日）

実施場所 鬼怒川温泉 男鹿園（栃木県日光市）

参加者 58名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
17名	10名	17名	14名	58名

② 宮城県

実施日時 平成24年8月19日（日）～20日（月）

実施場所 宮城蔵王ロイヤルホテル（宮城県刈田郡）

参加者 41名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
9名	9名	7名	16名	41名

③ 神奈川県

実施日時 平成24年8月24日（金）～26日（日）

実施場所 川崎市青少年の家（神奈川県川崎市）

参加者 43名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
6名	13名	16名	8名	43名

④ 岡山県

実施日時 平成24年8月25日（土）～26日（日）

実施場所 旭川児童院 通園センター（岡山県岡山市）

参加者 57名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
6名	6名	20名	25名	57名

⑤ 青森県

実施日時 平成24年9月29日（土）～30日（日）

実施場所 まかど温泉ホテル（青森県上北郡）

参加者 52名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
14名	14名	9名	15名	52名

⑥ 北海道

実施日時 平成24年10月6日（土）～7日（日）

実施場所 ホテル網走湖荘（北海道網走市）

参加者 21名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
6名	4名	5名	6名	21名

⑦ 大阪府

実施日時 平成24年10月27日（土）～28日（日）

実施場所 大山河イタルホテル（鳥取県西伯郡）

参加者 33名

保護者	障害児（者）	医療スタッフ	ボランティア	合計
12名	11名	9名	1名	33名



広島県での診察風景（会場形式）



熊本県での診察風景（家庭訪問）



レクリエーション プール体験



集合写真

2 予想される事業実施効果

【巡回療育相談】

重症児施設・国立病院機構・地域の中核病院等様々な機関に所属する専門家の方々にご協力をいただくことで、保護者が抱える悩みに対してその場でそれぞれの専門家が適切な助言や指導を行うことができている。相談時間を短くとも30分以上取ることで、一般の診療ではゆっくりと時間をかけて相談することができない相談者が、種々細かいこと（なかなか聞くことができないようなこと）でも相談することができた。また、医療面に関してはセカンドオピニオンの役割となることもあり、相談者の不安・疑問解消につなげることができた。

相談会を通し、医療的な知識の向上やスキルアップ、あるいは他の専門家がどのように相談者に接しどのように助言を行うかその方法を学ぶことができ、重症心身障害児（者）を支える関係者にとっても有益な機会となっている。また、各地区で専門家同士の横のつながりができ、地域や相談者の抱える問題を共有し解決に向けて協力し合うことで、各地域における連携強化や支援体制が構築されるなど、重症心身障害児（者）を取り巻く環境の改善が期待される。

【集団指導】

気管切開や胃ろうなど医療的なケアが必要な障害児（者）も安心して参加ができるよう専門家（医師・看護師・児童指導員・保育士・理学療法士等の施設スタッフや特別支援学校の教員等）を多めに配置し、更に保護者の負担の軽減と障害児（者）との交流を目的にボランティアも多めに配置した。

初めてスタッフとして参加した医師がこの事業の内容に大変感激され、今後の活動への協力も得られることとなった。様々な医師に参加をしていただくことで、新たに重症心身障害児（者）へ関わってくれる医師が増えることが期待される。

ボランティア・講師として行政関係者や製薬会社の方を迎えることで、重症心身障害児（者）の実態や当会の活動について理解を深めてもらえ、今後の活発的な活動の広がりを大いに期待することができる。

またこのキャンプでのボランティア体験を通し、将来の進路を決めるきっかけとなった学生もおり、将来的に障害児（者）分野で活躍する人材の育成にもつながっている。

3 本事業により作成した印刷物等

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る
（シャカイフクシホウジンゼンコクジュウシヨウシンシンシヨウガイ
ジ（シャ）ヲマモルカイ）

住 所： 〒154-0005
東京都世田谷区三宿2-30-9

代 表 者： 会長 北浦 雅子（カイチョウ キタウラ マサコ）

担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）

担 当 者 名： 物井 夕夏（モノイ ユカ）

電 話 番 号： 03-3413-6781

F A X： 03-3413-6919

E - m a i l： mamorukai@msi.biglobe.ne.jp

U R L： <http://www.normanet.ne.jp/~ww100092/>